

第108回 消費者安全調査委員会 議事要旨

■日時：令和3年8月20日（金）14:00～16:22

■場所：Web会議システムによる

■出席者（敬称略）

<消費者安全調査委員会>

委員長：中川丈久

委員：持丸正明、小川武史、河村真紀子、澁谷いづみ、水流聡子、中原茂樹

専門委員：小竹元基

<消費者庁>

片岡審議官、大森消費者安全課長、松本事故調査室長、事故調査室員

■議事次第：

1. 開会
2. 個別事案について
 - (1) 選定事案
 - (2) 申出事案
 - (3) その他
3. 閉会

■議事概要：

1. 開会
2. 個別事案について
 - (1) 選定事案

《進捗状況の報告》

 - 「ネオジム磁石製のマグネットによる子供の誤飲事故」について事務局から説明があり、これを基に審議を行った。
 - (2) 申出事案
 - 申出のあった個別事案については、選定・不選定決定済みの428件を除く27件と7月に申出のあったもののうちの5件の計32件について検討し、調査委員会では、次のとおり決定した。
 - ・引き続き情報収集を行う 29件
 - ・調査等を行わない 3件

(3) その他

- 自動ドアによる事故の周知動画の修正について事務局から説明があり、これを基に審議を行った。
- 平成 28 年 8 月に報告書を公表した「平成 18 年 6 月 3 日に東京都内で発生したエレベーター事故」について事務局から説明があり、これを基に追加意見の必要性等について審議を行った。
- 平成 30 年 9 月に報告書を公表した「電動シャッター動作時の事故」について事務局から説明があり、これを基に今後の対応方針等について審議を行った。
- 平成 29 年 5 月に報告書を公表した「体育館の床板の剥離による負傷事故」のフォローアップについて事務局から説明があり、これを基に審議を行った。
- 平成 28 年 7 月に報告書を公表した「ハンドル形電動車椅子を使用中の事故」について事務局から説明があり、これを基に同種類似の事故のリスクについて審議を行った。

3. 閉会

文責：消費者庁事故調査室